

高齢期の住まい方・暮らし方

～シェア・ハウジングという住まい方とその可能性～

少子・高齢化・人口減が進む下関にあって、一人暮らしの高齢者が 32%。近くに手助けをしてくれる親戚縁者も居ず、子育てに困難を覚える若い人など私たちは多くの課題を負っています。このような社会的孤立を招く要因を減らし経済的負担も軽減し、私たちが安心感を持って暮らせる社会を構築することが求められます。そこで、それぞれに課題を持つ人が助け合い分かち合う場の1つとしてシェア・ハウジングという住まい方・暮らし方が考えられます。

ご一緒に学んでみませんか？

▲日時 2017年

5月27日(土) 13:30～15:30

▲場所 下関市社会福祉センター
3F第1会議室

▲講師 富安兆子氏
(高齢社会をよくする北九州女性の会 代表)

参加費

500円

・連絡先 TEL/FAX 083-253-4892 (田中)

・主催 : 高齢社会をよくする下関女性の会 (ホーモイ)
・後援 : 下関市・下関市教育委員会・下関市社会福祉協議会